

カーボンニュートラルの 実現に向けた徳島県の取組み

令和5年11月15日

徳島県危機管理環境部グリーン社会推進課脱炭素推進室

脱炭素に向けた徳島県の動向

- 2012年 3月 「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」策定
- 2016年10月 ①「脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例」の制定
②法制化に先駆けた「気候変動適応戦略」策定
③国の目標を上回る「温室効果ガス削減目標」の設定
(国▲26%、県▲40%)
- 2019年11月 「2050年カーボンニュートラル」宣言
- 2020年 3月 「気候変動対策推進計画（緩和編）」策定
(2030年度に2013年度比で温室効果ガス▲50%)
- 2021年 3月 「再エネ100宣言 RE Action」アンバサダー就任
- 12月 「徳島県版・脱炭素ロードマップ」策定
(温室効果ガス▲50%、再エネ電力自給率50%超)
- 2022年 7月 改正・地球温暖化対策法に基づく
「促進区域の設定に関する環境配慮基準」策定
- 2023年 6月 「とくしまGX推進計画（仮称）」検討開始

徳島県版・脱炭素ロードマップ

本県の地球温暖化・脱炭素対策を戦略的に推進するため、重点施策を設け、具体的な取組と行程を示したもの

重点施策

自然エネルギー最大限導入

- 地域マイクログリッド構築
- 太陽光発電の率先導入・普及促進
- ZEHの拡充
- ZEBの率先導入
- 市町村の「促進区域」設定支援
など

水素グリッド構想の推進

- 水素モビリティによる
グリーン物流の推進



など

循環経済への移行

- ゼロカーボン・ドライブの推進
- プラスチックごみの削減
- 食品ロス削減

など

基盤的施策

- 家庭、事業所等における省エネの徹底
- 農林水産分野におけるGX推進
- カーボンニュートラルに資するものづくり企業の新展開

中期目標

2030年 温室効果ガス排出量 2013年度比▲50%
再生可能エネルギー電力自給率 50%超

長期目標

2050年 カーボンニュートラル

自然エネルギー等の導入・利活用①

県内の自然エネルギー発電施設

水力

- 公営電気の発電所の中では最大の
日野谷発電所
(62,000kW)



太陽光

- 災害時は200kWの電力供給が可能な
和田島太陽光発電所
(2,000kW)



風力

- 県内3町村の稜線に設置された
大川原ウィンドファーム
(1万9,500kW)



バイオマス

- 8府県の間伐材などを使用する
徳島バイオマス発電所
(6,340kW)



水素エネルギーを活用した設備

燃料電池自動車の導入

- 県公用車7台に燃料電池自動車 (FCV) を導入



水素ステーション開所

- 移動式・固定式の水素ステーションを開所



燃料電池バスの路線運行

- 2台が路線運行開始 (1日11便)



自然エネルギー等の導入・利活用②

県有施設への率先導入や補助制度創設

- ・「**自家消費型の太陽光発電**」及び「**蓄電池**」を併せて県有施設に導入
- ・**ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）** ※による交番整備
※快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間のエネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物
- ・太陽光発電設備や蓄電池、**ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）** ※の導入など、住宅の省エネ性能の向上に取り組む県民に対し**費用の一部を支援**
※エネルギー収支をゼロ以下にする家



県庁屋上の太陽光発電設備

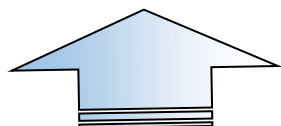


「藍住町交番(仮称)」

市町村の脱炭素化への取組み支援

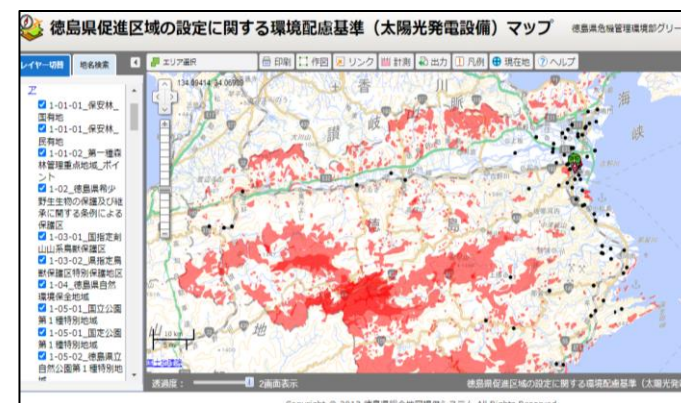
■ 市町村の法律上の努力義務

- ・地方創生につながる「**再生可能エネルギー導入促進**」の計画策定
- ・脱炭素化事業を積極的に行う「**促進区域**」の設定



■ 県の支援

- ・促進区域の設定に必要な「**環境配慮基準**」の策定
- ・「**環境配慮基準**」を地図上に「**見える化**」
- ・地域の合意形成をサポート



環境に配慮すべき箇所を地図上に表示

循環経済への移行

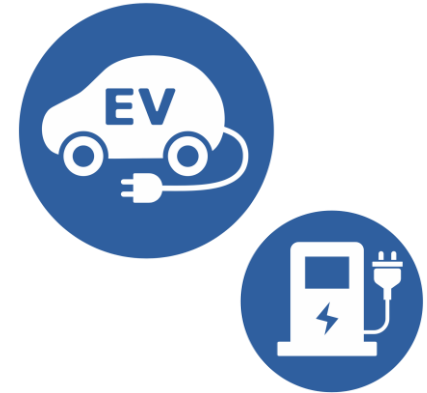
ゼロカーボン・ドライブの推進

■ EV導入等に対する補助制度の創設

- ・災害時や停電時の**非常用電力確保のため、EV（電気自動車）**や**V2H（住宅用充放電設備）**を導入する県民に**費用の一部を支援**

【各補助率】

- EV：蓄電容量×2万円（上限80万円）
- V2H：設備費の1/2（上限75万円）



プラスチックごみの削減に向けた取組み

■ 県と大手飲料メーカーによる「ペットボトルの水平リサイクル」に関する連携協定の締結

- ・ペットボトルの「水平リサイクル」（ペットボトルからペットボトルへ）を県下全域で推進
- ・教育現場等への「資源循環」の普及啓発



協定締結式

中小企業支援・県民への脱炭素社会の啓発

中小企業への脱炭素経営支援

■ 中小企業向け融資制度「GXとくしま推進資金」の創設

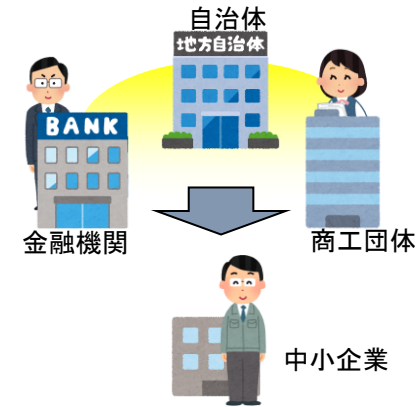
中小企業が行う、脱炭素社会や循環経済、グリーン社会実現に寄与する設備投資等を支援

■ 「ものづくり企業GX推進コンソーシアム」の発足

環境負荷の小さい高機能素材の活用など、GX関連ものづくりを推進

■ 地域ぐるみでの中小企業支援

地域の金融機関、商工団体、行政が連携し、それぞれの得意分野を生かし
中小企業の脱炭素経営を支援



遊びを通じた「脱炭素社会」の啓発

■ 「脱炭素・未来空間TOKUSHIMA」

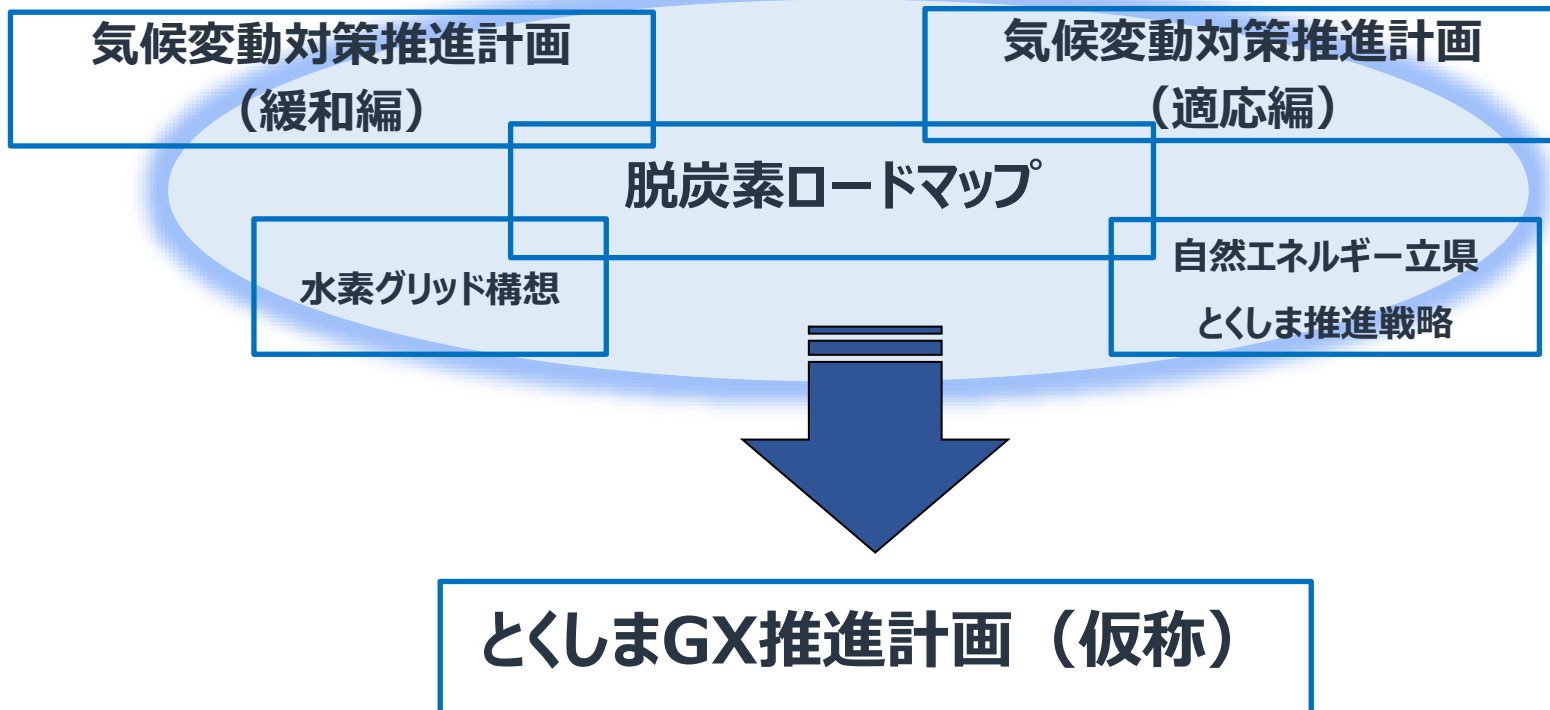
- ・「Minecraft」上の**仮想都市**
「バーチャルTOKUSHIMA」
- ・制限時間内で「ソーラーパネルの設置」、「壁面緑化」、
「ごみの分別」など脱炭素につながるアクションを行う
- ・合計ポイント数によって、
カーボンニュートラルが実現した未来、あるいは
気候変動が進んだ未来を疑似体験



今後の取組み

GX推進計画（仮称）の策定

- ・本県における脱炭素に関連する5計画を統合し、「**とくしまGX推進計画（仮称）**」を**2023年度内に策定**
- ・脱炭素施策をとりまく状況や国の動きを的確に反映
- ・「**県民目線**」「**県民主役**」の施策展開



とくしまのGXを確実に推進！